

市道北部環状線（仮称）宮古トンネルが貫通しました

～ 市道北部環状線の整備が進んでいます ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成 26 年 11 月 13 日、**宮古市道北部環状線**において（仮称）**宮古トンネル**の貫通式が行われました。貫通式には県、宮古市、地元自治会、工事関係者等約 70 名が出席し、模擬発破による貫通の儀、通り初めの儀、鏡開きを行い、出席者で無事貫通したことを祝いました。

市道北部環状線は、震災後の平成 23 年度から岩手県が代行事業として、宮古市山口地区から佐原地区までの約 2.3km の整備をすすめており、平成 28 年度の開通を目指し改良工事や橋梁工事、トンネル工事を行っています。

（仮称）宮古トンネルは延長 318m であり、平成 26 年 1 月からトンネル掘削を開始しました。市街地や住宅地に近い箇所での掘削のため、発破時の騒音や振動に配慮し深夜の作業を行うことができない等施工条件に制約がありましたが、無事故・無災害で貫通することができました。引き続きトンネル内部をコンクリートで覆う工事や排水設備の工事等を行いトンネルの完成を目指していきます。



【市道北部環状線の事業概要】

市道北部環状線（宮古市山口地区～佐原地区）は宮古市街地から国道45号や県立宮古病院へのアクセス向上、市内の渋滞緩和、災害時における円滑な救援活動や物資輸送を目的に平成23年度から岩手県が代行事業として整備を進めています。

平成28年度の開通に向けて、現在はトンネル築造工事・橋梁工事及び道路改良工事を行っています。

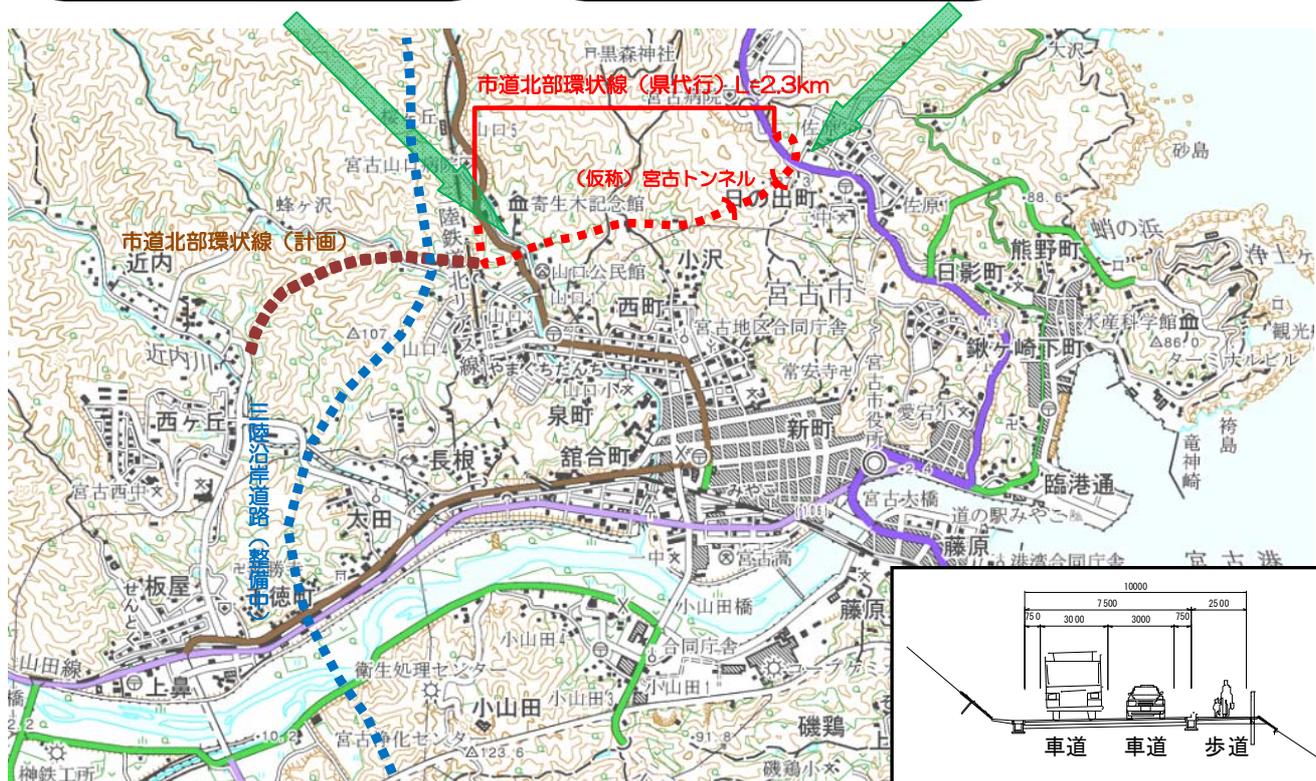
山口地区の橋梁



佐原地区の橋梁



国道45号上のため夜間に架設



(仮称) 宮古トンネル 起点側坑口



(仮称) 宮古トンネル 掘削作業状況

